

平成 23 年度事業報告

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

越谷市千間台東 1 丁目 2 番地 1

特定非営利活動法人越谷らるご

電話 048-970-8881

理事長 増田良枝

「一人ひとりちがうその人の事情を理解し、気持ちに共感し、成長と学習をきめ細かに支援する」という設立趣旨を大切に、これまでと同様に支援活動を行ってきた。

特に平成 23 年度は、社会的養護が必要な子ども・若者の生活支援のための自立援助ホーム設立に向けて準備活動を行い、臨時総会を開催し、千間台西に建物を借り、平成 24 年 3 月に自立援助ホーム「ゆらい」を開設することができた。

また昨年度に引き続いて、フリースクールりんごの木高等部生への職場体験事業（文部科学省委託）や子どものための芸術ワークショップ事業を行った。

1 事業の成果

(1) フリースクール事業

年間を通しおよそ 40 名程度が在籍し、下記のような活動を行った。

- ・文部科学省の委託事業として地域の協力を得ながら「職場体験事業」を行った。
- ・音楽活動を行い、他団体と協働して事業所内外で 6 回の演奏会を実施した。
- ・子どもの発案で外部講師を招き、原発についての学習会を行った。
- ・食育活動として「ひるめし食堂」を週 1 回、実施した。
- ・保護者会（2 回）、保護者面談（1 回）を実施した。
- ・保護者有志によるお茶会が毎月自主的に開催され、保護者同士の連携が深まった。
- ・子ども通信『Happy Go Lucky』を 11 回、発行した。
- ・フリースクールの新コースとして「通信制高校卒業資格取得コース」を開設した。
- ・他団体との連携

2 社の民間企業とのスポーツ交流会を継続して実施した。

フリースクール全国ネットワーク主催の子ども交流合宿をりんごの木が中心になり実施した。

フリースクール全国ネットワーク主催の文化祭でバンド演奏を行い、ゲームコーナーの出店をした。また、日本フリースクール大会に参加し、活動発表等をした。

(2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業

- ・体験談を聞く機会を設けるなど工夫し、親の会を定期的に行うことができた。
- ・相談活動を行った（新規相談件数：138 件）。
- ・不登校・登校拒否を考える全国ネットワークの運営に関わり、全国合宿などの講師を務めた。

(3) 生涯学習にかかわる事業

- ・新規事業として「不登校の子どものための科学実験教室」（越谷しらこぼと基金助成事業）を開催した。

- ・子どもゆめ基金による助成を受け、「子どものための芸術ワークショップ（アートプロジェクト）事業」を実施した。
- ・昨年度に続き、埼玉県より「ひきこもり集いの場運営事業費補助金」を受け、20歳以上の居場所「ほっとりんご」を月2回程度実施した。また埼玉県から環境整備補助事業として備品購入の助成を受けて、相談室を整備した。
- ・平成17年度越谷らるごが中心となって立ち上げた、行政と地域との協働事業「わくわく体験プロジェクト」を実施した。
- ・ジャズミニコンサートを、昨年同様2回開催した。
- ・講演会を2回行った。

（4）人権擁護の推進と福祉の増進に関わる事業

- ・自立援助ホーム開設準備のための生活支援型施設開設準備委員会を設置し、必要に応じて委員会を開催した。また、自立援助ホームのための建物を賃貸契約した。
- ・事務担当職員をおき、委員会の準備、記録、諸連絡、広報のためのチラシ作成などを行った。
- ・中央ろうきんの助成金事業で、自立援助ホームの学習会、講演会、映画上映会、シンポジウムを開催した。
- ・開設準備資金として寄付金を募るとともに、各種助成金申請をした。
- ・埼玉県子ども安全課より開設準備の承諾をうけ、3月よりホーム長他職員を新たに雇用し、自立援助ホーム「ゆらい」を開設した。

（5）活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業

- ・越谷らるご通信、子ども通信を予定通りに発行できた。発送作業はフリースクールの保護者有志が中心で行った。またホームページの更新、メールマガジンの発行など予定通りできた。
- ・東武よみうりに、りんごの木だより、「フリースクールは今」を12月まで毎月掲載した。
- ・講師活動としては、草加保健所、ネモネット講演会、ひがクリニック学習会、はればれ越谷主催学習会、埼玉県精神神経科診療協会主催シンポジウム、ネモネット主催ユースフェスタシンポジウム、障害者の職場参加をすすめる会にスタッフ、りんごの木、ほっとりんごメンバーを派遣した。
- ・埼玉県主催「不登校セミナー」にブース出展した。
- ・文部科学省が中心の「子ども見守り育てるネットワーク推進会議」の「子どもが安心できる不登校支援の在り方に関するワーキンググループ」にフリースクール全国ネットワークの一員として参加した。

2 事業の実施にかかわる事項

特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施場所
(1) フリースクール事業	年間を通して、学校以外の子どもの居場所・出会い・交流・学習の場の提供、活動支援、相談活動、見学・体験入会などの実施、情報提供などを行った。平成23年度は40名でスタートし、5名が新入会し、6名が途中退会した。(平成24年3月末の在籍：39名)	本法人の事業所他

(2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業	親の会 毎月1回、年間を通して実施し、各回10名前後が参加した。	本法人の事業所
	相談活動 不登校、ひきこもり、家族関係の問題などの相談を受けた。	本法人の事業所他
(3) 生涯学習にかかわる事業	アートプロジェクト事業(子どもゆめ基金助成金事業) 5月～翌年3月の土曜日に月3回、不登校の子ども若者を対象に体験的アート活動を行った。	本法人の事業所他
	ほっとりんご(埼玉県ひきこもり集いの場運営事業費補助金事業) 20歳以上の人の居場所として毎月2回、座談会や調理など多様な活動を実施した。	本法人の事業所他
	不登校の子どものための科学実験教室(越谷しらこぼと基金) 11月～翌年3月まで月に2回、不登校の子ども若者を対象に科学実験教室を開催した。	本法人の事業所
	行政と地域との協働事業(わくわく体験プロジェクト) 年2回、野外料理と不登校の体験談を聞く会を1回ずつ行い、年度末に報告書を作成した。	中央市民会館他
	講演会・学習会 講演会(芹沢俊介氏、内田良子氏)を1回ずつ開催した。	本法人の事業所
	ジャズ・ミニ・コンサート ジャズピアニスト板倉克行氏らによるコンサートを2回開催した。各回20名前後の参加者があった。	本法人の事業所
(4) 人権擁護の推進と福祉の増進に関わる事業	生活支援型施設開設準備委員会の活動 社会的養護が必要な子ども・若者のための自立援助ホームなどの施設開設の準備を行い、3月に開設した。 学習会、講演会、映画上映会、シンポジウムを実施した。	本法人の事業所
(5) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業	通信の発行 毎月20日に(8・9月号のみ合併号)越谷らるご通信を発行した。	本法人の事業所
	インターネットによる発信 メールマガジン(毎月発行)・ホームページの発行を行った。	本法人の事業所
	講師派遣 行政、民間などから依頼され講師(スタッフ・ほっとりんごメンバーなど)を派遣した。	保健所他